

感染症情報 6月23日～29日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,003例(堺市	52例)
②伝染性紅斑	448例(堺市	35例)
③溶連菌感染症	360例(堺市	52例)
④手足口病	206例(堺市	24例)
⑤咽頭結膜熱	163例(堺市	16例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 73例(堺市 2例)

報告数による順位。前週比2.7%減の2,555件。感染性胃腸炎は府下で前週から14%減、堺市で前週65例→今回52例。伝染性紅斑が府下で17%減、堺市で前週44例→今回35例。溶連菌感染症が府下で12%増、堺市で前週42例→今回52例。手足口病が府下で38%増、堺市で前週13例→今回24例。咽頭結膜熱が府下で15%減、堺市で前週19例→今回16例であった。

インフルエンザが府下で前週66例→今回73例は11%増。堺市は前週4例→今回2例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で104例→62例は40%減、堺市は0例→1例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,821例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 356例(堺市 29例)
大阪府定点 1.22 堺市定点 1.16

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で17%増、定点当たり1.04→1.22。堺市は41例→29例(29%減)、定点当たり1.64→1.16となった。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 10,330例(堺市 978例)
大阪府定点 35.38 堺市定点 39.12

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より8%減、定点当たり38.45→35.38、堺市で前回より3%減、定点当たり40.52→39.12であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。